

ドイツにおけるワーク・ライフ・バランス ～ 仕組みが充実した生活を ”日常” にする ～

「過労死・過労自殺」「ブラック企業」「職場うつ」など、日本では世界的に見ても、長時間労働や厳しい労働環境が問題になっています。国や企業としても「ワーク・ライフ・バランス」や「働き方改革」などを掲げ、労働条件の見直しや、女性や高齢者などが就労しやすい環境整備を目指すなどの姿勢が見受けられますが、「経済成長」の言葉に押され、なかなか実現が難しいのが現実です。

ドイツにおいては、ワーク・ライフ・バランスを実現させるために、様々な分野で対策が講じられてきました。そのためには、様々な枠組みを超えた仕組みづくりが重要なカギとなります。ドイツ在住で仕事と子育てを両立しながら毎日充実した暮らしを送っている“イクメン”の二人から、「公私ともにバランスが取れた、充実した毎日を送る」ため、ドイツの事例を通して、都市・地域といったマクロ視点から、また人材育成・価値観や職場の仕組みづくりといったミクロ視点からの対策を、ご紹介します。

内 要：「日独の現場からみるワーク・ライフ・バランスの違い」(金田)
「ワーク・ライフ・バランスを実現する都市と地域の仕組み」(永井)
講師によるレクチャーの後、質疑応答&ディスカッション

日 時：大阪開催 2017年8月23日(水) @ (株)フォーチル
東京開催 2017年8月24日(木) @ クラブヴォーバン

時 間：15～17時 要予約
終了後懇親会(希望者のみ、懇親会は実費負担)

対 象：クラブヴォーバン法人サポーター(2名まで参加費無料)
クラブヴォーバン個人・若者サポーター(参加費無料)



金田 真聡 Kaneda, Masato

建築家・EA partners共同代表、ドイツ・ベルリン在住。1981年生まれ。2007年法政大学大学院修了。建設会社設計部5年間勤務した後、2012年からドイツ・ベルリンに移住し、plajer & franz studio勤務。大型の集合住宅や省エネ改修の設計を担当。

Environment > Architecture をコンセプトに日独を結んで活動する設計事務所「EA partners」を二瓶渉と共に設立。日独で設計に携わる傍ら、ドイツの環境配慮建築に関する講演、リサーチ、文章を執筆。共著に「海外キャリアの作り方～ドイツ・エネルギーから社会を変える仕事とは?～」著書「ベルリン建築日和」「30歳からの国際化」



永井 宏治 Nagai, Koji

建築・都市地域計画コンサルタント。ドイツ・ビーレフェルト在住。1981年生まれ。東北芸術工科大学、ドルトムント工科大学ディプロム課程卒業。2004年からドイツ在住、エゴ建築研究機関に約10年勤務。

独立後、専門家や学生へのセミナー、企業へのコンサルティングを行っている。日経アーキテクチュア、環境ビジネス、建築技術、IBEC機関紙、その他メディアに、ドイツの都市と建築について寄稿。共著に「海外キャリアの作り方～ドイツ・エネルギーから社会を変える仕事とは?～」。

■ 問い合わせ・連絡先・予約 ■

一般社団法人クラブヴォーバン

TEL 03-6205-4493

Email fuku-y@club-vauban.net

※懇親会参加の有無もお知らせください



大阪会場：地下鉄「四ツ橋」駅6番出口より徒歩すぐ
大阪府大阪市西区北堀江1丁目5-8



東京会場：「新橋」駅 徒歩2分
東京都港区新橋2-5-6 大村ビル8階



持続可能なまちづくり×エネルギー自立地域
をめざす 全国ネットワーク

クラブヴォーバンは、世界に先駆けて持続可能なまちづくりを行っているドイツの“ヴォーバン住宅地”を模範とし、日本国内で「持続可能な低炭素型のまちづくり」をめざす経営者や地方自治体・研究者・学生などあらゆる立場の人たちが学び集うためのネットワーク(場)です